

発表は次のとおり実施願います。

テレビ・ラジオ 新聞	7月18日(金) 17時以降 7月19日(土) 朝刊
---------------	-------------------------------

大日堂の国登録有形文化財の登録について



大日堂の外観

笠間市出身の日本画家 木村武山により建立された「大日堂」が、令和7年7月18日(金)に開催される国の文化審議会において、登録有形文化財(建造物)として登録するように文部科学大臣に答申される予定です。

これにより、官報告示を経て、国の登録有形文化財(建造物)として、登録となる見込みです。

今後も貴重な文化財建造物として保存するとともに、積極的な公開活用に努めてまいります。

■ 大日堂(だいにちどう) 概要

- 1 登録名称 大日堂
- 2 登録員数 1棟
- 3 所在の場所 笠間市箱田字長町2210番地 ほか
- 4 構造、形式及び大きさ 木造平屋建、瓦葺、建築面積24㎡
- 5 所有者 笠間市
- 6 建設年 昭和10年(1935)
- 7 建築の特徴

笠間市出身の日本画家 木村武山が建立した持仏堂。池に東面して建つ宝形造本瓦葺で、頂部の路盤中央に宝珠、四隅に鳳凰を飾る。内部は1室の玉石敷で、中央に据えた八角須弥壇に厨子を安置する。壁の仏画や天井の花鳥図など、武山が絵筆をふるった渾身の仏堂。



堂内の厨子と壁画

- 木村 武山 (きむら ぶざん)
明治9年(1876)、笠間市箱田に生まれる。東京美術学校(現在の東京藝術大学)へ進み、岡倉天心らの指導を受ける。第1回文部省美術展覧会(文展)で入賞するなど数々の功績を残し、当代随一の仏画家といわれた。
- 大日堂公開情報
公開日時 毎月第2・第4日曜日 午前9時～午後4時(※予約制)
拝観料 大人(大学生以上)500円、小人(小学生以上高校生以下)300円